

エクアドル 概況

ジェトロ海外調査部(2021年6月22日更新)

一般的事項	政治動向	二国間関係																																																																																							
<p>国・地域名:エクアドル共和国 Republic of Ecuador 面積:25万6,370平方キロメートル (日本の約0.7倍、出所:国家統計調査局(INEC)) 人口:1,759万人(2021年、出所:同上) 首都:キト 人口182万2,000人(2018年、出所:国連推計) 民族:欧州系・先住民混血72%、先住民7%、アフリカ系・アフリカ系との混血7%、欧州系6%、その他中東系等(2010年国勢調査) 公用語:スペイン語(他にケチュア語・シュアール語等) 宗教:主にカトリック</p>	<p>① 1990年代には政権崩壊が相次いだ。2007年に急進的な政治・経済改革を訴えた経済学者のコレア氏が大統領に就任した。コレア大統領は、「大きな政府」をスローガンに掲げて新憲法を制定した。コレア政権は、原油輸出で得た資金をインフラ整備や教育や福祉など社会政策分野に予算を重点配分してきた結果、失業率は下がり、貧富の格差も縮小した。こうした一連の政策が貧困層の支持を集め、2013年2月の大統領選に大勝し、3選を果たした。 ② 2017年4月に行われた大統領選挙の決選投票では、現職のコレア大統領の後継候補で与党のモレノ前副大統領が勝利した。モレノ政権は、コレア前大統領の左傾政策を踏襲せず、野党や民間との対話を重視。汚職撲滅に注力し、米国との関係改善も行った。また2019年1月にベネズエラでグアイド氏が暫定大統領就任を宣言。モレノ政権はマドゥロ大統領ではなくグアイド氏支持を表明したことで、左派政権からの離脱を印象付けた。 ③ 2021年4月に行われた大統領選挙で、コレア大統領が推薦する左派のアラウス氏を抑え、中道右派のラッソ氏が勝利した。ラッソ大統領は市場開放政策へ転換し、太平洋同盟への加盟やFTAの締結を進めることを表明している。</p>	<p>貿易額: (単位:100万円)</p> <table border="1" data-bbox="2062 218 2875 390"> <thead> <tr> <th></th> <th>日本の輸出</th> <th>日本の輸入</th> <th>収支</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2018年</td> <td>47,383</td> <td>108,169</td> <td>△60,786</td> </tr> <tr> <td>2019年</td> <td>53,472</td> <td>124,947</td> <td>△71,475</td> </tr> <tr> <td>2020年</td> <td>24,561</td> <td>95,948</td> <td>△71,386</td> </tr> </tbody> </table>					日本の輸出	日本の輸入	収支	2018年	47,383	108,169	△60,786	2019年	53,472	124,947	△71,475	2020年	24,561	95,948	△71,386																																																																				
	日本の輸出	日本の輸入	収支																																																																																						
2018年	47,383	108,169	△60,786																																																																																						
2019年	53,472	124,947	△71,475																																																																																						
2020年	24,561	95,948	△71,386																																																																																						
<p>基礎的経済指標</p> <p>GDP(名目):988億801万ドル(2020年) 1人当たり名目GDP:5,643ドル(2020年) 輸出:202億2,657万ドル(FOB、2020年) 主要輸出品目:原油(23.2%)、エビ(18.9%)、バナナ(18.1%) 主要輸出相手国:米国(23.7%)、中国(15.8%)、パナマ(12.0%) 輸入:179億5,914万ドル(CIF、2020年) 外貨準備高(2020年末):71億9,565万ドル 外国直接投資受入残高(2020年):10億1,695万ドル 対外債務残高(2020年末):412億9,424万ドル 出所:エクアドル中央銀行 通貨単位:米ドル(2000年以降、米ドルを法定通貨としている)</p>	<p>経済動向</p> <p>① 1990年代には各種経済政策が功を奏さず、多くの銀行が破綻。1999年には対外債務利払い停止。2000年には経済・金融危機收拾の切り札として法定通貨を米国ドルにした。 ② 輸出の半分以上が石油、輸出先も米国、EUに偏っていたが、近年、非石油部門を強化し、EU以外の欧州、アジア・オセアニア等輸出先を増やしている。 ③ 2014年7月にEUとの通商協定が基本合意に達し、2017年1月に発効した。本協定は関税引き下げに加えて、サービスや政府調達なども含めた、エクアドルにとって初めての包括的な協定である。 ④ 原油価格が低下し、国際収支が悪化しているため、政府は2015年に入り、自動車の輸入総量規制の強化(1月)、588品目について関税率引き上げ(1月)、全輸入品に対する5~45%の追加関税(3月から15カ月間の時限措置)など、様々な保護主義的措置を導入した。 ⑤ 2017年6月、国際収支防衛のために導入されていた追加関税措置が撤廃された。2016年4月の大地震で経済が大きな打撃を受けたとして、同措置の適用期間は1年延長されていた。 ⑥ 2018年8月、ベネズエラが主導する米州ポリバル同盟(ALBA)から脱退し、通商面での反米左派路線からの決別を国際社会にアピールした。 ⑦ 2019年3月にIMFから42億ドルの融資を受けたが、その際の条件となった財政緊縮策として、同年12月、税制改革を柱とする経済改革緊急法が成立した。 ⑧ 新型コロナウイルスの急速な感染拡大で、2020年5月に再びIMFより緊急融資を受けた。</p>	<p>出所:財務省貿易統計よりジェトロ作成</p> <p>対日貿易の主要品目(構成比):2020年 日本の輸出:熱延鋼板(幅600ミリメートル以上、クラッド、めつき又は被覆したものを除く)(23.3%)、貨物自動車(11.3%)、乗用自動車(10.2%)、鉄又は非合金鋼のフラットロール製品(クラッドし、めつき又は被覆したもので、幅が600ミリメートル以上のものに限る。)(9.0%)、自動車の部品及び付属品(4.9%)原動機付きシャシ(4.6%) 日本の輸入:石油および歴青油(原油)(70.8%)、バナナ(12.3%)、冷凍野菜(7.0%)、甲殻類、甲殻類の粉、ミール及びペレット(2.3%)、食用に適しない肉、魚または甲殻類、軟体動物もしくはその他の水棲無脊椎動物の粉、ミールおよびペレット(魚粉等)(1.5%)、切花及び花芽(1.4%)</p> <p>出所:GTA(元データは財務省貿易統計)よりジェトロ作成</p>																																																																																							
<p>政治体制</p> <p>政体:共和制 元首:ギジェルモ・ラッソ大統領(Guillermo LASSO) (2021年5月就任、任期は2025年5月まで) 議会制度:一院制(任期4年:計137議席) 与党 CREO [12] 野党 UNES(希望のための連合)[49]、パチャクティック[27]、民主左翼(ID)[18]、キリスト教社会党(PSC)[16]、その他[15] 内閣(主要閣僚): 副大統領 アルフレッド・ボレロ・ベガ(Alfredo BORRERO VEGA) 経済財政相 シモン・クエバ・アルミホス(Simón CUEVA ARMIJOS) 外相 マウリシオ・モンタルボ(Mauricio MONTALVO) 内相 セサル・モンヘ・オルテガ(César MONGE ORTEGA) 労働相 パトリシオ・ドノソ・チリボガ(Patricio DONOSO CHIRIBOGA) 生産・貿易・水産相 フリオ・ホセ・プラド(Julio José PRADO) 農業畜産相 タンジー・ベラ・メンドサ(Tanlly Vera MENDOZA) 環境・水相 グスタボ・マンリケ・ミランダ(Gustavo Manrique MIRANDA) 都市開発・住宅相 ダリオ・エレラ・ファルコネス(Darío Herrera FALCONES) エネルギー・非再生可能天然資源相 ロベルト・サラス・グスマン(Roberto SALAS GUZMÁN) 教育相 マリア・ブラウン・ペレス(María BROWN PÉREZ) 通信・情報社会相 ビアンナ・マイノ(Vianna MAINO) 中央銀行総裁 ベロニカ・アルトーラ・ハリン(Verónica ARTOLA JARRÍN) 出所:エクアドル政府ウェブサイト</p>	<p>エクアドルの主要経済指標</p> <table border="1" data-bbox="934 1314 2039 1934"> <thead> <tr> <th></th> <th>2016年</th> <th>2017年</th> <th>2018年</th> <th>2019年</th> <th>2020年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 実質GDP成長率(%)</td> <td>△1.2</td> <td>2.4</td> <td>1.3</td> <td>0.01</td> <td>△7.8</td> </tr> <tr> <td>2. 民間最終消費支出(対GDP比、%)</td> <td>59.9</td> <td>59.9</td> <td>59.7</td> <td>60.5</td> <td>n.a.</td> </tr> <tr> <td>3. 政府最終消費支出(〃)</td> <td>14.6</td> <td>14.6</td> <td>14.7</td> <td>14.5</td> <td>n.a.</td> </tr> <tr> <td>4. 輸出(財・サービス)(〃)</td> <td>19.5</td> <td>20.8</td> <td>22.6</td> <td>23.4</td> <td>n.a.</td> </tr> <tr> <td>5. 輸入(財・サービス)(〃)</td> <td>19.0</td> <td>21.6</td> <td>23.8</td> <td>23.3</td> <td>n.a.</td> </tr> <tr> <td>6. 消費者物価上昇率(年平均、%)</td> <td>1.7</td> <td>0.4</td> <td>△0.2</td> <td>0.3</td> <td>△0.3</td> </tr> <tr> <td>7. 失業率(〃)</td> <td>5.87</td> <td>4.94</td> <td>4.63</td> <td>4.86</td> <td>7.59</td> </tr> <tr> <td>8. 一般政府財政収支(対GDP比、%)</td> <td>△8.2</td> <td>△4.5</td> <td>△3.2</td> <td>△3.1</td> <td>△6.3</td> </tr> <tr> <td>9. 一般政府総債務残高(〃)</td> <td>43.2</td> <td>44.6</td> <td>46.1</td> <td>51.5</td> <td>64.6</td> </tr> <tr> <td>10. 輸出(FOB、10億ドル)</td> <td>16.8</td> <td>19.1</td> <td>21.6</td> <td>22.3</td> <td>20.2</td> </tr> <tr> <td>11. 輸入(CIF、10億ドル)</td> <td>16.3</td> <td>20.0</td> <td>23.2</td> <td>22.6</td> <td>18.0</td> </tr> <tr> <td>12. 経常収支(10億ドル)</td> <td>1.11</td> <td>△0.16</td> <td>△1.33</td> <td>△0.06</td> <td>2.47</td> </tr> <tr> <td>13. 原油輸出額(FOB、10億ドル)</td> <td>5.05</td> <td>6.19</td> <td>7.85</td> <td>7.73</td> <td>4.68</td> </tr> </tbody> </table> <p>[出所]1. 6. 7. 10. 11. 12. 13. :エクアドル中央銀行、2. 3. 4. 5. :世銀、8. 9. :IMF</p>		2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	1. 実質GDP成長率(%)	△1.2	2.4	1.3	0.01	△7.8	2. 民間最終消費支出(対GDP比、%)	59.9	59.9	59.7	60.5	n.a.	3. 政府最終消費支出(〃)	14.6	14.6	14.7	14.5	n.a.	4. 輸出(財・サービス)(〃)	19.5	20.8	22.6	23.4	n.a.	5. 輸入(財・サービス)(〃)	19.0	21.6	23.8	23.3	n.a.	6. 消費者物価上昇率(年平均、%)	1.7	0.4	△0.2	0.3	△0.3	7. 失業率(〃)	5.87	4.94	4.63	4.86	7.59	8. 一般政府財政収支(対GDP比、%)	△8.2	△4.5	△3.2	△3.1	△6.3	9. 一般政府総債務残高(〃)	43.2	44.6	46.1	51.5	64.6	10. 輸出(FOB、10億ドル)	16.8	19.1	21.6	22.3	20.2	11. 輸入(CIF、10億ドル)	16.3	20.0	23.2	22.6	18.0	12. 経常収支(10億ドル)	1.11	△0.16	△1.33	△0.06	2.47	13. 原油輸出額(FOB、10億ドル)	5.05	6.19	7.85	7.73	4.68	<p>人的交流</p> <p>要人往来: (往) 2014年 上川陽子総務副大臣、亀岡偉民内閣府政務官 2015年 参議院公式派遣団(中曽根弘文元外相他)(アジア太平洋議員フォーラム) 2016年 武井俊輔外務大臣政務官 2017年 西村康稔特派大使(大統領就任式) 2018年 佐藤正久外務副大臣、野中厚農林水産大臣政務官、河野太郎外務大臣 (来) 2013年 タピア環境相(水銀条約会合) 2014年 ポベダ戦略部門調整相、アルボノス電力・再生エネルギー相、リバデネイラ貿易相 2016年 イェペス外務副大臣 2017年 オクレス危機管理庁長官、カンパナ貿易相 2018年 レオン通信情報社会相、モレノ大統領、バレンシア外務大臣他</p> <p>日系企業進出状況:19社(2019年10月時点) 出所:外務省「海外進出日系企業拠点数調査(令和元年10月1日現在)」</p> <p>在留邦人数:308人(2020年10月時点) 出所:「海外在留邦人数調査統計(令和3年版)」</p> <p>在日エクアドル人:251人(2020年6月時点) 出所:法務省「在留外国人統計(旧登録外国人統計)」</p>			
	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年																																																																																				
1. 実質GDP成長率(%)	△1.2	2.4	1.3	0.01	△7.8																																																																																				
2. 民間最終消費支出(対GDP比、%)	59.9	59.9	59.7	60.5	n.a.																																																																																				
3. 政府最終消費支出(〃)	14.6	14.6	14.7	14.5	n.a.																																																																																				
4. 輸出(財・サービス)(〃)	19.5	20.8	22.6	23.4	n.a.																																																																																				
5. 輸入(財・サービス)(〃)	19.0	21.6	23.8	23.3	n.a.																																																																																				
6. 消費者物価上昇率(年平均、%)	1.7	0.4	△0.2	0.3	△0.3																																																																																				
7. 失業率(〃)	5.87	4.94	4.63	4.86	7.59																																																																																				
8. 一般政府財政収支(対GDP比、%)	△8.2	△4.5	△3.2	△3.1	△6.3																																																																																				
9. 一般政府総債務残高(〃)	43.2	44.6	46.1	51.5	64.6																																																																																				
10. 輸出(FOB、10億ドル)	16.8	19.1	21.6	22.3	20.2																																																																																				
11. 輸入(CIF、10億ドル)	16.3	20.0	23.2	22.6	18.0																																																																																				
12. 経常収支(10億ドル)	1.11	△0.16	△1.33	△0.06	2.47																																																																																				
13. 原油輸出額(FOB、10億ドル)	5.05	6.19	7.85	7.73	4.68																																																																																				